



総合通信基盤局電気通信事業部利用環境課長

大内 康次

OOUCHI Kouji

平成 13年	4月	総務省採用
		情報通信政策局総務課
平成 13年	9月	同 情報通信政策局放送政策課
平成 16年	7月	米国留学(ハーバード大学)
平成 18年	8月	同 総合通信基盤局国際部国際経済課北米経済係長
平成 19年	7月	同 総合通信基盤局国際部国際経済課多国間経済室課長補佐
平成 20年	7月	同 総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課課長補佐
平成 22年	7月	同 総合通信基盤局事業政策課課長補佐
平成 24年	6月	外務省欧州連合日本政府代表部一等書記官
平成 27年	7月	総務省情報通信国際戦略局情報通信政策課課長補佐
平成 28年	6月	同 情報流通行政局放送政策課統括補佐
平成 30年	8月	同 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課調査官
令和 2年	1月	同 総務大臣秘書官
令和 2年	9月	同 総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課企画官
令和 3年	6月	外務省在アメリカ合衆国日本国大使館参事官
令和 6年	8月	現職

なぜ情報通信か？

日常生活で、あるサービスを利用する時、それを可能にする技術や仕組みを気にする必要はありません。それを支えるルールを気にする機会 は、もっと少なくてもよいはず。もちろん、そのサ ービスで大きな社会問題が起きたりすれば、そうとも 限りませんが、例外的でしょう。デジタル技術が社 会や経済になくてはならない存在となる中で、その 例外が原則になりつつあると感 じる ことが増えてきました。

情報通信は、コミュニケーションや商取引などの 「手段」であり、より良い社会を実現することもあ れば、徹底的に悪用されることもあります。有名人を 騙るSNSで投資被害に遭う。多くの若者が通信ア プリで強盗に入るように指示される――様々な悪

用の形を目にした時、書き込んだ者を特定すればいい ではないか、そんなサービスは止めてしまえばいい ではないか、という思いを抱くのは当然です。た だ、そのための技術や仕組みを知れば、解決策だけ でなく課題も見えてきます。とりわけ、ほとんどの国 民がまっとうなコミュニケーションを行う環境をど う確保し続けていくかは、対策の前に常に立ち現れ る課題です。

なぜ総務省か？

さらに、そうした対策をルールで担保すればどう なるかというところまで思考が及べば、私たち総務 省職員の出番になります。国は、公益のためには、本 人の意思に反してでも、誰かの権利や財産を制約 することができます。そうしたいわけでは毛頭ないで すが、その覚悟なく仕事をすれば、必ず誰かを傷つ

けてしまう。時には、政策の大方針をものの1分で 決めなければならないこともあります。

そんな震えるような瞬間に私が立ち戻るの は、国として守るべき利益が何かを正しく理解すること、世の中はそうした利益のバランスの上に立つべ きという信念です。犯罪対策と表現の自由とイノ ベーション。サイバー安全保障とプライバシー保護 と国際調和。一見矛盾するようでも、これらを両立 させる知恵は必ずある――もし私が20年 少々の経験で蓄積したものとすれば、物事を捉える 視点の多様性 くらいのも のですが、立体的な思考の先に政策フィールドの広がりを感 じています。

なぜあなたか？

世の中がどう移ろっても、そこにデジタル技術があ る限り、10年後、20年後の社会全体の仕組み

づくりを担う人間でありたいと思う方、そんなあな たの志望を期待しています。



高市元大臣と



ノイシュバンシュタイン城



ダイビング

若手職員の声



総合通信基盤局利用環境課

森永 俊

(令和6年入省)

利用環境課は、通信サービスの”負の側面”から利用 者を守る業務を担っています。具体的には、情報漏洩等 の通信の秘密及びプライバシーの侵害対策や、”闇バイ ト”・詐欺を含む不適正利用対策を行っています。発展著 しいグローバルなサービスや先端通信技術における利 用者利益の保護等、歯応えのある業務に知的好奇心が 刺激される毎日です。

大内課長は若手含め部下全員の意見を汲みつつ、的 確に助言をくださるため、課内一丸となって議論できる 職場になっています。難題に対して高い視座から解決策 をスマートに考えられる課長のような行政官を目指し、 私も日々の業務に邁進しております。

PROJECT

闇バイト対策と 総務省

総ての利用者が情報通信サービスを安心して利用できる環境を作ることは総務省の重要なミッションであり、当課 では、プライバシーや通信の秘密などの基本的人権の保障や迷惑メール対策などの不適正利用対策に関する政策を 総合的に進めています。SNS上の情報漏えい事案などで、総務省の名前を紙面で見ること も多いか と思います。

闇バイトと総務省？ と思われるかもしれませんが、違法な募集行為が行われるSNSやその前提となる携帯電話 サービスの不正利用を抑止する観点から、本人確認の強化などの取組と表現空間の確保のバランスをどう図ってい くべきかについて、自分たちも悩みながら、関係省庁や事業者などの関係者と膝詰めの議論を日々行っています。